

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支 社 長 堀 圭一

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	金抜き設計書：番号86・87 路盤排水工についてフィルター材は購入材と考えてよろしいかご教示願います。 また、規格もあわせてご教示願います。	土木工事共通仕様書「12-15路盤排水工」及び特記仕様書「17-1 盛土材等 (2) インバート埋戻し工」の規定を満足する購入材を想定しています。
2	金抜き設計書：番号87 路盤排水工（横断排水工B）について設計図（トンネル工）：図面番号48/79 排水工詳細図（3）の横断排水工材料表において非常駐車帯を除く1箇所当たり掘削量が1.702m ³ と記載されています。 一方で閲覧(貸与)狩勝第二トンネル詳細設計 REPORT09(P15-3)においては1.072m ³ と記載されています。 どちらが正しいのかご教示願います。	横断排水工Bにおいては、非常駐車帯を除く1箇所当たり掘削量は、1.072m ³ が正です。
3	金抜設計書（B-3頁）番号31 『8-(1)コンクリート（T3-4）』の数量が12,369m ³ との記載ですが、この数量は覆工コンクリートの支払数量に相当すると思われます。 ここでは設計数量の8,422m ³ となるのではないでしょうか。	コンクリートT3-4の設計数量は、8,416m ³ が正となります。
4	金抜設計書（B-8頁）番号91 『12-(15)汚濁水処理工 濁水処理』において当初計画している泥土の運搬先についてご教授願います。	特記仕様書21-2に記載のとおり本線盛土場を想定しております。

番号	質問事項	回答
5	<p>金抜設計書（B-9頁）番号107『特-(2) 注入式長尺鋼管先受工 注入工A (L=12.5m)』の数量が49,140kgとの記載ですが、特記仕様書並びに設計書では、1本当たりの注入量は110kg/本との記載となっております。 設計数量は41,580kgではないでしょうか。</p>	<p>注入式長尺鋼管先受工 注入工A (L=12.5m) の設計数量は、41,580kgが正となります。</p>
6	<p>金抜設計書(B-1～2頁)番号11, 12, 13割掛対象参考内訳書1/6 割掛対象参考内訳書1/6 の工事用機械分解組立費（構造物掘削）の数量内訳に「硬質地盤専用圧入機」の記載がございます。 この項目には硬質地盤専用圧入機の分解組立の費用も含むのでしょうか、それとも割掛項目には運搬費のみを計上し、分解組立の費用は各々の単価項目で計上するのでしょうか。 硬質地盤専用圧入機の分解組立費の計上箇所について教示願います。</p>	<p>工事用機械分解組立費（構造物掘削）には、硬質地盤専用圧入機の分解組立の費用も含まれます。 なお、費用については割掛対象表により計上を想定しています。</p>
7	<p>割掛対象参考内訳書3/6 割掛対象参考内訳書3/6 準備工事費に工事車両泥落し装置費がございます。 この項目は共通仮設費（率）を算出する際の対象金額と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>土木工事積算基準に記載のとおりです。</p>
8	<p>割掛対象参考内訳書4/6 割掛対象参考内訳書4/6 仮設備工事費に換気設備費がございます。 その設置期間はトンネル掘削期間となっておりますが、参考図8/18の工事工程表より本工事のトンネル掘削終了時点においてトンネルは貫通していない計画とされていると思います。 そのため、トンネル掘削完了後も坑内への換気が必要です。 トンネル掘削完了後の換気設備の運転に関しては別途協議願います。</p>	<p>掘削完了後の換気については、契約後別途協議となります。</p>
9	<p>串内橋下部工について 支保工費が割掛対象表参考内訳書および率計上項目数量表にも計上されていないと思われます。 支保工費は金抜き設計書：番号32 型わくCに計上されていると考えてよいかご教示願います。 また、数量もあわせてご教示願います。</p>	<p>単価項目の型わくCに支保工費を含んでいます。 数量については、貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>

番号	質問事項	回答
10	<p>割掛け項目 沈砂池費について 参考図面17/18に沈砂池概略図 材料表に構造物掘削、大型土嚢、ふとんかご等が記載されています。 また、割掛け対象表参考内訳書には、送水設備しか記載されていません。 割掛け項目「沈砂池費」には、当社が計画する掘削、土のう等必要なすべてをこの項目に計上と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>参考図17/18及び割掛け参考内訳書の記載内容により想定しています。</p>
11	<p>汚濁水処理工 泥土処理工について 汚濁処理により発生した泥土の処分については、特記仕様書21-2 副産物の活用等（1）表内に建設汚泥：本線盛土場と記載されています。 ただし、（3）に建設汚泥は、「費用については監督員と受注者で別途協議」とされています。 これらから、単価項目「汚濁水処理 泥土処理工」の施工内容は、どのような物でしょうか。</p>	<p>単価項目「汚濁水処理 泥土処理工」については、有害物質を含まない場合には本線盛土場へ運搬、敷均しとなります。</p>
12	<p>金抜き設計書：番号2 客土掘削について 土砂運搬の起点はトマム団体線入り置場出入口と考えてよろしいかご教示願います。</p>	<p>積算に対する質問にはお答えできません。</p>
13	<p>金抜き設計書：番号3～5 捨土掘削について 土砂運搬の終点はトマム団体線入り置場出入口と考えてよろしいかご教示願います。</p>	<p>積算に対する質問にはお答えできません。</p>
14	<p>金抜き設計書：番号72 ズリ処理工について ズリ運搬の終点はトマム団体線入り置場出入口と考えてよろしいかご教示願います。</p>	<p>積算に対する質問にはお答えできません。</p>
15	<p>金抜き設計書P3 項目番号8-(2)型枠C (T) の内型枠、外型枠、支保工、足場工のそれぞれの数量についてご提示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>
16	<p>設計図（参考図）13/18 避難連絡坑施工次第図(2)に供用路線覆工コンクリート取壊しについての記載がございます。 この取壊しは別途でしょうかそれとも割掛け工事費の避難連絡坑補強費に計上でしょうか。</p>	<p>避難連絡坑補強費に含まれます。</p>

番号	質問事項	回答
17	割掛対象表参考内訳書5/6 割掛工事費の吹付プラント冬季養生費には建屋に要する費用は含まないと考えでよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
18	割掛対象表参考内訳書6/6 割掛け工事費の仮囲い費に使用する仮設材はリースでの計画でしょうかそれともも買取扱いでしょうか。	仮設材はリースを想定しています。
19	割掛け対照表参考内訳書【共通仮設費】工事用機械分解組立費（構造物掘削）について硬質地盤専用圧入機：3台-1往復と記載されています。 硬質地盤専用圧入機は土木工事積算基準（令和6年度版）2-4ページ：表2-2のどの機械区分および適用建設機械に該当するかご教示願います。 該当しない場合は歩掛をご教示願います。	積算に対する質問にはお答えできません。
20	割掛け対照表参考内訳書【仮設備工事費】ダンプトラック運転費について、ホロカトマムトンネル工事および東占冠トンネル工事と同様に地質分類および坑外仮置場までの往復走行時間、インバート掘削数量をご教示願います。	インバート掘削数量については、地質縦断図（地山分類）及び加背割図及びより算出ください。
21	【金抜設計書】及び【数量明細表（契約項目）】に示されている「コンクリート T 3 - 4」の数量が、設計報告書の検測数量と異なります。どちらが正しい数量でしょうか。	金抜設計書の数量は8,416m ³ が正となります。 数量明細表の数量は8,416.3m ³ が正となります。
22	【金抜設計書】及び【数量明細表（契約項目）】に構造物裏込め工 裏込め工A 1 の数量が310m ³ 及び309.7m ³ となっていますが、設計図に表記されていません。 数量が確認できる資料をご開示願います。	裏込め A 1 を記載した設計図に後日訂正いたします。
23	「割掛け対象表参考内訳書 3 / 6 準備工事費 坑内仮排水設備費」の数量内訳（参考）に「排水ポンプ①、排水ポンプ②」とありますが、これに伴う電気使用料金は、この項目に含めると考えて良いですか。	割掛け項目の工事用電力費に含みます。

番号	質問事項	回答
24	「汚濁水処理工 泥土処理工」の運搬先は、トマム団体線ずり置場と考えて良いですか。	特記仕様書21-2に記載のとおり本線盛土場を想定しております。
25	既設覆工の撤去費は、避難連絡坑補強費に含めて良いですか。	ご認識のとおりです。
26	【金抜設計書】及び【数量明細表（契約項目）】に示されている「コンクリート A 1 – 3」の坑門工（起点側）の数量が、設計報告書の検測数量と異なります。 どちらが正しい数量でしょうか。	金抜設計書及び数量明細表が正となります。
27	【金抜設計書】及び【数量明細表（契約項目）】に示されている「コンクリート A 1 – 3 (T)」の数量が、設計報告書の検測数量と異なります。 どちらが正しい数量でしょうか。	金抜設計書及び数量明細表が正となります。
28	【金抜設計書】及び【数量明細表（契約項目）】に示されている「ロックボルト工 B (L=4. 0 m) 及びC (L = 3. 0 m)」の数量が、設計報告書の検測数量と異なります。 どちらが正しい数量でしょうか。	金抜設計書及び数量明細表が正となります。

番号	質問事項	回答
29	<p>④【設計図】22/79「長尺鋼管先受け工、鏡吹付けコンクリート 材料表」には注入剤の1シフト当たりの数量は2, 970 kg (110 kg／本×27本／シフト)と記載されており、14シフト分の合計数量は2, 970 × 14 = 41, 580 kgとなると思われますが、【金抜設計書】及び【数量明細表（契約項目）】には49, 140 kgと記載されております。東工事の1シフト当たりの数量を使用し計算すると3, 510 kg (130 kg／本×27本／シフト) × 14 = 49, 140 kgとなります。 1シフト当たりの数量は2, 970 kgと3, 510 kgのどちらを正と考えればよろしいでしょうか。</p>	<p>1シフト当たり、2, 970 kgが正となります。 金抜設計書及び数量明細表（契約項目）については後日訂正いたします。</p>
30	<p>④【設計図】43～45/79を見ると、横断排水工が25箇所であると読み取れます。 設計報告書ではC I - B - L (H)に1箇所施工するようになっており、計26箇所となっています。 設計図が正しいと考えて良いですか。</p>	<p>設計図の非常駐車帯部に誤りがありますので26箇所が正となります。</p>
31	<p>中央排水工B及び横断排水工Bにおいて、各々フィルター材の費用を計上し、インバート埋戻し工では、これらの数量を控除していると考えて良いですか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
32	<p>路盤排水工で使用するフィルター材は、「特記仕様書17-1（2）に示す規定を満足するもの」と考えて良いですか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
33	<p>「構造物裏込め工 裏込め工A1」で使用する材料は、購入する考えで良いですか。</p>	<p>特記仕様書17-1「盛土材等」の規定を満足する購入材を想定しています。</p>
34	<p>ずり処理工A1は、「串内橋A1及びA2までの運搬、裏込め工の敷均し、締固め」となっていますが、坑内から搬出されたトンネルズリをそのまま使用できるとの考えで良いですか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
35	<p>割掛対象表参考内訳書6/6 仮囲い費は設置延長となっていますが、撤去も含むのでしょうか、ご教示ください。</p>	<p>撤去も含みます。</p>
36	<p>坑門工の埋戻しは、数量明細表 番号2 客土掘削 土砂Aで1, 153. 2m³計上されています。 数量明細書 番号15に計上されている裏込め工A1は、坑門工のどの部分の埋戻しを計上しているのかご教示ください。</p>	<p>裏込めA1を記載した設計図に後日訂正いたします。</p>

番号	質問事項	回答
37	割掛対照表参考内訳書【仮設備工事費】汚濁水処理設備冬季養生費について建屋の組立および解体費は計上されていると考えてよいのかご教示願います。	ご認識のとおりです。
38	割掛対照表参考内訳書【仮設備工事費】汚濁水処理設備冬季養生費について建屋の設置期間は養生期間の11.0ヶ月、汚濁水処理設備設置期間の20.8ヶ月のどちらなのかご教示願います。	汚濁水処理設備の建屋の設置期間は20.8ヶ月となり、そのうち11.0ヶ月が冬期養生期間となります。
39	割掛対照表参考内訳書【雑工事費】沈砂池費について沈砂池撤去時に発生する遮水シート、高密度ポリエチレン管、サクションホース、大型土のう、土のう、松丸太、松矢板の処分に要する費用については監督員と受注者で別途協議し定めるものとして考えてよいのかご教示願います。	撤去した各種材料の処分費用を含みます。
40	割掛け対照表参考内訳書【雑工事費】沈砂池費について排水方法は冬期期間（11月16日～4月30日）を除き、常時排水と考えてよいのかご教示願います。	ご認識のとおりです。
41	割掛け対照表参考内訳書【雑工事費】沈砂池費についてふとんかご用の割ぐり石（150～200mm）の材料単価が令和6年10月北海道支社管内土木工事設計材料単価表には記載されておりません。 令和7年4月北海道支社管内土木工事設計材料単価表または参考積算条件書において公表されると考えてよいのかご教示願います。	入札公告（説明書）P4に記載のとおり、参考積算条件書には、主要な材料の設計単価等を掲載する予定です。
42	インバート埋戻し材について道路掘削、客土掘削、ずり処理工の各区分内容にインバート埋戻しの記載がありませんので、購入材使用と考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書28-6-4 (1) 材料の規定を満足する購入材を想定しています。